

Future

最高学年として見せる成長

登校2日目の4月6日（火）から通常通りの授業がスタートし、朝の15分間のMy Timeも始まりました。My Timeはその名の通り、「それぞれがやることを選択し、15分間過ごす『自分の時間』」です。私からは「マイクロステップ（編入生には近日案内）、読書、図書館での本の貸し出し」を提案していますが、強制ではなく、バスでの登校に疲れたのか、1時間目の授業に向けて心の準備をしているのか、静かに休憩している子もいました。初回から誰1人喋ることなく、「自分の時間」を過ごしていることに今年から加わった丹波先生はとても感心していました。そして3年生の前川先生は3年生の子どもたちを見学に連れて来られました。そして何より3年生の時には何度も注意しないといけなかった私自身がその光景に1番驚きました。24名となり、年度初めはバタバタすることを予想していましたが、授業でも楽しむ時と話を聞く時のメリハリも3年生の時以上にできており、1時間目の45分間のモジュールの授業で、15分の授業を3つ切り替えながら進めていく流れも、3日目で形になりました。人数が増え、一段とクラス全体の中の個人の意識が高まり、計画や準備をする力も高まっているように感じました。今後子どもたちがさらに成長を見せるのか、非常に楽しみです。

新たなプロジェクトのスタート

プロジェクトは私たち教員が出すテーマに対して、国語・算数・理科・社会など、様々で教科の資質・能力（知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう力・人間性）を活かし、成果物を作り上げる授業です。

4月8日（金）の授業から第1クォーターで取り組む、「1年生を迎える会プロジェクト」をスタートさせました。4/28（木）に5日に入学した78名の新1年生の入学をお祝いする会が予定されており、SOLANでは初めての行事になります。準備期間が20日間しかないことに驚きながらも、早速これから何を計画して決めていかなければならないかを話し合いました。今週の授業から早速計画を進め、1年生に喜んでもらえる行事の成功に向けて頑張っていきます！

計画（決めなければならないこと）

会場、会の流れ、時間、景品・プレゼント、サプライズ、遊び、飾り、1年生の特徴、招待人数、コロナ対策、参加方法、役割（2年、3年、4年、先生、スタッフ）